

報道機関 各位

平成17年4月14日
国立大学法人 広島大学
情報化推進部広報課長

広島大学とセント・メアリーズ大学との 学術・教育交流に関する協定書の調印式につ いて

広島大学(東広島市、学長:牟田泰三)とノバ・スコシア州立セント・メアリーズ大学(カナダ、ハリファクス市、学長:J.Colin Dodds)は、両大学の学術・教育分野における協力を通じ、両国及び両大学間の相互理解を深め、かつ学術の進歩・発展に貢献するため、交流協定を締結する運びとなりました。

つきましては、調印式並びに記念植樹を、下記のとおり行いますのでご案内申し上げます。

記

- 日時: 平成17年4月15日(金)11時～12時
場所: 広島大学東広島キャンパス 本部棟及び International Square
・協定書調印式 11:00～ 本部棟5階 第1会議室
・記念植樹 11:40～ International Square(中央図書館前)
出席者: 広島大学
牟田泰三 学長
高橋 超 理事・副学長(教育・学生担当)
佐藤正樹 総合科学部長
中原忠男 教育学研究科長
セント・メアリーズ大学
エスター・エンズ 人文学部長
デニス・ルクレア 国際部長

協定締結の背景等: [別紙のとおり](#)

【お問い合わせ先】

広島大学国際部国際協カグループ
国際企画課長 門脇
TEL 082-424-6041

[発信枚数;A4版 2枚(本票含む)]

○[協定締結について](#)

別紙

セント・メアリーズ大学－広島大学 大学間交流協定締結 について

平成17年4月15日、国立大学法人広島大学(東広島市 学長 牟田泰三)は、ノバ・スコシア州立セント・メアリーズ大学(カナダ・ハリファクス市 学長 J.Colin Dodds)と、大学間協定を締結し、学生交流と、国際共同研究プロジェクト「リベレーテッド・ラーニング・プロジェクト Liberated Learning Project」(以下LLP)への参加を開始します。

セント・メアリーズ大学では、1802年設立のカナダ有数の歴史を持ち、経営学部等学生数は8,560名の大学です。同学は障害のある学生への支援にも定評があり、1998年にセント・メアリーズ大学で発足したLLPは、音声認識技術活用による教育支援を世界に先駆けて導入した研究プロジェクトで、現在、カナダ、豪州、米国、英国にまたがる国際コンソーシアムへと発展しています。LLPの授業では、教員の話した内容が自動的に、音声認識ソフトによりテキスト化され、スクリーンにリアルタイム字幕として映し出され、同時に授業映像や授業中に使用されたPCプレゼンテーションも同期した字幕付き教材が作成され、インターネットによる配信も行うことができます。

このような教育支援は、聴覚に障害のある学生や筆記が困難な学生にとって効果的であるだけでなく、語学力に不安のある留学生や学習障害のある学生にとっても効果的です。

広島大学は、平成16年度に、これまで培われた障害学生支援を基礎とし更なる充実を求めて申請した、「高等教育のユニバーサルデザイン化」が、文部科学省から「特色ある大学教育支援プログラム」採択されました。その一環として、バリアのない授業の推進に積極的に取り組んでおり、平成17年度後期から英語で行われる講義にLLP導入を開始します。平成18年度以降、世界で初めてとなる日本語版LLPの開発を進めます。

またLLP参加協定とともに入学料・授業料不徴収条項を含む学生交流に関する付属文書を取り交わします。これにより、短期留学プログラムによる人材交流が可能となり、両校における国際的人材育成の連携強化も期待されます。